

Course number		U-LAS51 10036 SB48					
Course title (and course title in English)		アクティブリスニングⅠ（全・英）-E3 Active Listening I(All Faculties, English)-E3		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Institute for Liberal Arts and Sciences Program-Specific Senior Lecturer,SATO RYUICHI	
Group		Career Development		Field(Classification)		International Communication	
Language of instruction		Japanese and English		Old group		Group C	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Seminar (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Tue.3/Thu.2		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p>本科目は、英語による講義を履修するために必要となるリスニング能力の育成を目的とする。リスニング能力の育成では、語・文レベルでの聴解力を重視するボトムアップ型と、背景知識や文脈などを活用した意味理解を重視するトップダウン型の両方を組み合わせる。リスニング能力の向上により、主体的に英語での講義に参加できることを目指す。</p>							
[Course objectives]							
<p>本科目は、以下の3つを到達目標として定める。この科目が修了する時点で受講生が以下の能力を身につけることを目標とする。</p> <p>(1)英語の音声的特徴（母音、子音、リズム、イントネーション、連結、脱落、同化など）を分析的に理解し、その知識をリスニングの際に利用することができる。</p> <p>(2)文脈や背景知識、発話の状況を活用して、次にくる情報や内容などを予測したり、自身の理解を修正したりする方法を身につけ、その方法をリスニングの際に利用することができる。</p> <p>(3) 英語の概論的講義を聞いて、その概要や要点を的確に把握することができる。</p>							
[Course schedule and contents]							
<p>本授業のねらいは、授業に参加する皆さんが、将来的に英語を介した対人コミュニケーションで意思疎通ができるようになるために必要なリスニング力を身につけることです。そのため、試験問題に出てくるような音声を聞いて正答を選択するような問題を解くことに加え、英語で話されているコンテンツを聴いたり、会話・スピーチの練習をしたりと、実際のコミュニケーションに慣れるための活動を行います。これらの活動中には、より正確な英語の発音ができるようなトレーニングも行います（発音できない音は聞き取ることが難しいためです）。</p>							
[使用言語]							
<p>英語と日本語。授業ルール等の重要な説明は英語で行い逐次日本語で説明をします。わからないことは、日英どちらの言語でもいいので、必ず質問してください。</p>							
[教材]							
<p>この授業では、学術英語の特徴を理解するために、様々な文脈の英語使用を比較しながらすすめます。授業ではYoutubeやTEDトークなどを使い、日常英会話やビジネス英会話、ニュース、アカデミックなトピックなど、様々なジャンルのコンテンツを取り入れた音声教材を扱います。これら音声教材の詳細は授業で逐次紹介します。</p>							
[期末試験]							
<div style="text-align: right;">Continue to アクティブリスニングⅠ（全・英）-E3(2)</div>							

アクティブリスニングⅠ（全・英）-E3(2)

期末試験は二つで構成されます。一つ目は、13週目に行う筆記テストです。教員が提示する音声（講義形式）を聞き、日本語か英語の要約を書きます。二つ目は12 - 13週目に行うショートスピーチです。アカデミックな状況でのコミュニケーションシナリオに基づいた会話を行う形式です。日程等の詳細は初回授業で提示します。

[授業計画]

- 第1週：授業計画、授業ルール、教材、評価方法等の確認
- 第2週：リスニングの基本原則についての説明（母音と子音）
- 第3週：TED Talkに学ぶ英語のスピーチ(リズム)
- 第4週：異なる国や地域の英語 アカデミックな英語とは？（イントネーション）
- 第5週：ピコ太郎のPPAP：日本語と英語の音声的特徴（連結）
- 第6週：英語のニュースは早口に聞こえる？(脱落)
- 第7週：英語でカラオケをしてみましょう（同化）
- 第8週：アメリカ英語はムズすぎて聞こえん 担当教員の留学経験談（弱形とラ行化）
- 第9週：発音をチェックするためのAI使用
- 第10週：期末試験対策Ⅰ
- 第11週：期末試験対策Ⅱ
- 第12週：期末試験（スピーチ）
- 第13週：期末試験（スピーチ）
- 第14週：期末試験（筆記）
- 第15週：希望者へのフィードバックと学習相談
- 第16週：フィードバック

第1週の授業は、シラバスの読み合わせをしますが、特に授業ルールについては非常に重要なので、質問があれば積極的に聞いてください。出席や評価等、初回授業で設定したルールは、以降例外なく変わりません。初回の授業には必ず出席し、授業ルールや全体計画について理解を深めてください。

[Course requirements]

この授業ではスマートフォンを高頻度で使用する予定です。

[Evaluation methods and policy]

- (a) 毎週の課題(ポートフォリオ)：到達目標の(1)と(2)の基礎 (40%)
- (b) 期末試験（スピーチ）：主に到達目標の(1)と(2)の応用 (30%)
- (c) 期末試験（筆記）：到達目標の(3) (30%)

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

（Related URL）

https://www.i-arrc.kyoto-u.ac.jp/english/tips/contents_jp#frame-322((英語リスニング力を向上させるために))

<https://www.i-arrc.kyoto-u.ac.jp/english/soundfeatures>((英語音声の特徴：口語英語の音声変化))

アクティブリスニングⅠ（全・英）-E3(3)

https://www.i-arrc.k.kyoto-u.ac.jp/english/interviews_jp((京都大学自律的英語ユーザーへのインタビュー))

https://www.i-arrc.k.kyoto-u.ac.jp/english/websites_jp((自律的学習に有益なウェブサイトやアプリを探すためのデータベース))

https://www.i-arrc.k.kyoto-u.ac.jp/english/consultation_jp_FAQ((英語学習相談：よくある質問))

[Study outside of class (preparation and review)]

毎週必ず期末試験に向けた進捗の報告をしてもらいます。詳細は初回授業で提示します。

[Other information (office hours, etc.)]

オフィス・アワーの詳細は初回授業で提示します。

お遊びのつもりで授業は行いませんが、言語学習はそもそも楽しくないと身につきません。自分にとって実りのある学習にするためには、目的意識をもって取り組んでください。また、そもそも英語学習の目的自体を見直したい人も多いと思います。担当教員は、紆余曲折を経て英語教師をしています。英語学習についての相談には積極的にのりますので、どうぞオフィス・アワーをご利用ください。